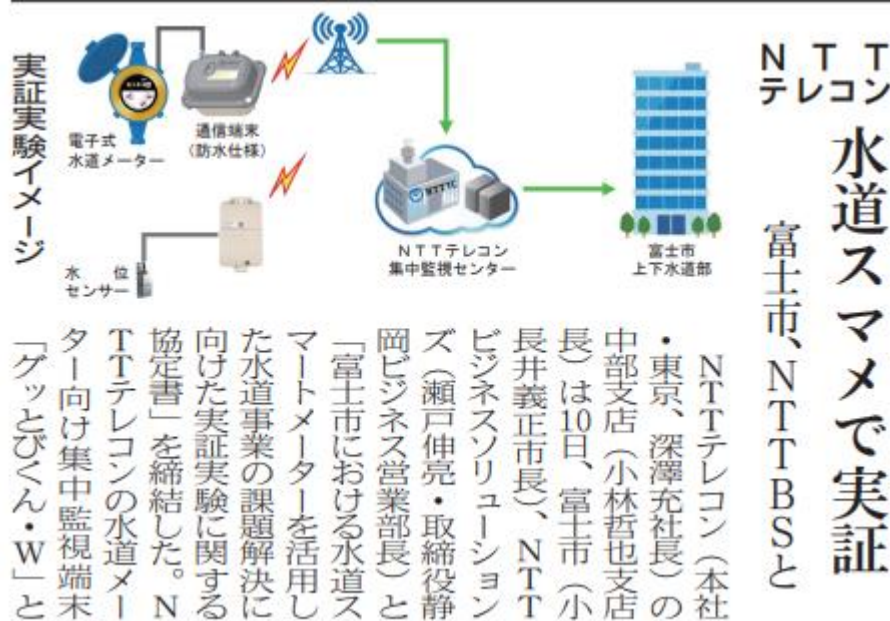




集中監視システムを用い
て、富士市での上下水道
関連業務のDXへ、水道
メーターの遠隔検針技術
を活用した実証実験を行
う。

実証実験は、NTTテ
レコンの通信端末（グッ
とびくん・W）と水道管
に設置した電子式水道メ
ーターを接続、集中監視
センター（蔵市）を介し
て水道メーターの遠隔監
視機能や漏水警報機能を
活用した設備状況の把
握。さらに、昨今の気候
変動で災害級の豪雨が増
えたことから、同様に通
信端末と冠水センサーを
活用し、マンホール内の
浸水量を検知して溢水を
事前に把握し対策を行
う。実証実験を通じて業
務の稼働削減や災害対策

について定量的、定性的
に効果測定を行う。実証
期間は今年5月から20
26年7月までで、必要
に応じて継続する。漏水
把握とマンホールの溢水
監視の効果を評価すると
ともに、収集データを活
用し、新たな付加価値創
造によるDXの推進も検
討していく。

地方自治体での公共施
設や道路、水道などのイ
ンフラ整備に関わる事業
費などは増加傾向にある
とともに、事業に携わる
人材も慢性的な不足が課
題になっており、DXに
よる業務効率化が急務に
なっている。